

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



SSS030-P15

会場:コンベンションホール

時間:5月24日 10:30-13:00

## 2007年5月のラオスの地震 (Mw6.3) の断層モデルの推定、共役断層である可能性 Fault model of an earthquake at Laos(May 2007, Mw6.3); Possibility of a conjugate rupture.

芹澤 伸隆<sup>2\*</sup>, 古屋 正人<sup>1</sup>

Nobutaka Serizawa<sup>2\*</sup>, Masato Furuya<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学理学研究院, <sup>2</sup>北海道大学理学院

<sup>1</sup>Hokkaido University, <sup>2</sup>Hokkaido University

2007年5月16日、ラオス北部の国境近くで Mw6.3 の地震が発生した。  
L-band の ALOS/PALSAR データを用いて InSAR より地殻変動を検出した。  
干渉画像より Global CMT 解や USGS との震源の位置の比較を行った。  
2010年の連合大会において、一様な矩形断層を用いてすべりを説明した。  
しかし、観測されたデータは複雑なすべりを示し、簡単な断層モデルでは説明しきれない。  
また、変形シグナルの特徴的な分布は、この地震が共役断層であることを示唆している。  
そこで今回、三角形要素のメッシュからなる断層モデルを作成し、変動の説明を行う。

キーワード: 地震時地殻変動, 合成開口レーダー, 干渉合成開口レーダー

Keywords: coseismic deformation, SAR, InSAR